

# 共に学び磨き進まん

日々向上 ~昨日より今日 今日より明日~

横中は  
愉快だ  
宇都宮

UTSUNOMIYA

時折は寒の戻りがあるものの、厳しかった冬も終わり、春らしい穏やかな気候になってきました。そのような中、3月10日には本校の第75回目となる卒業証書授与式が行われ、212名の3年生が次のステージに向けて巣立っていきました。

令和3年度は残りわずかとなりましたが、今年度もコロナウイルス感染症に翻弄された一年だったように思います。様々な制約によって行事の見直しや変更を余儀なくされ、日々の学校生活でも、依然としてソーシャルディスタンスや手指の消毒、換気、黙食などの対策も継続せざるを得ない状況です。生徒たちは、そうした中でもやれることに精一杯取り組み、素敵な笑顔がたくさん見せてくれました。各ご家庭のご理解とご協力のおかげと感謝申し上げます。

## 「3年生を送る会」をリモートで開催

予定では2月に実施することになっていた「3年生を送る会」を、3月8日に実施しました。3年生を体育館に入場させてあげたかったところですが、諸事情によりリモートでの開催となりました。

送る会の開催に向けて、生徒会執行部の生徒が企画と準備、運営を行い、吹奏楽部や合唱部からの曲の贈り物や、各部活動の1・2年生から先輩にあてたメッセージ、3年間の思い出のアルバムなどが贈られました。リモートながら3年生の心に残る素敵なひとときとなったと思います。リモートでの実施に向けて、動画での撮影や編集など今年度から始まった一人一台端末を駆使しており、生徒たちのICT機器の活用スキルの高さや時代の流れをしみじみと感じました。



## 「第75回卒業証書授与式」が行われました



去る3月10日、横川中学校の第75回卒業証書授与式を挙行了しました。残念ながら、今年度の卒業式も在校生や多くのご来賓の列席をお迎えして・・・という形にはできず、保護者の方も人数制限をさせて頂くことになってしまいました。また、コロナ禍にあって3年生の練習も十分に行えなかった中で卒業式となりましたが、卒業証書を受ける姿や式に臨む姿はとても立派で、改めて3年間の成長を感じることができ嬉しく思いました。式辞では一つだけ卒業生にお願いをしました。それは、「他

を思いやれる、気配りや気遣いのできる人になってほしい」ということでした。送辞では、在校生を代表して2年生の福田さんが、卒業生に饞（はなむけ）の言葉を贈りました。これに答える形で、井口さんが3年間の中学校生活を回顧し、友達や後輩、先生と作ってきた多くの思い出や家族への感謝の気持ちを述べました。式後は、在校生に見送られ横川中学校を巣立っていきました。一人一人が自分で選んだ次のステージで、これまで以上に頑張ってくれることを期待しています。

## スキー競技で全国大会に出場

中学校総合体育大会スキー競技で、2年生の金子さんが昨年度に続き2年連続で全国大会への切符をつかみ、長野県で行われた全国大会に出場しました。



昨年度は出場権をつかんだにも関わらず、コロナ禍により大会が中止となってしまう悔しい思いをしましたが、今年度は開催され、回転と大回転の2種目に栃木県を代表して出場してきました。

## スキー体験学習(2年生)

年度末が押し迫った3月18日に、2年生の立志記念行事のスキー体験学習をようやく行うことができました。



立志式は校内ですでに実施し、記念講演として全校生徒が「いのちの授業」を聴いたり、2年生が将来に向けた誓いなどを発表していましたが、スキー体験学習だけは変更し、変更で実施が延びていました。そうした中、日帰りとはなりましたが、県北にあるマウントジーンズ那須スキー場で体験学習をすることができホッとしています。



当日は小雨や雪が降る天候となりましたが、実行委員の生徒たちが進めた開校式に続き、早速インストラクターの方々にご指導をいただきながらスキーに挑戦しまし



た。

杉野さんが考案したスキー体験学習の「スローガン、今だ！ 未来へ 夢へすべり出そう」の下、初めこそ少しおっかなびっくりの様子でしたが、あっという間にコツをつかんだようで、全員が滑ることができるようになりました。



午後はどの班もリフトに乗り、悲鳴や笑い声、引きつった表情などがあったものの、山の上から滑り降りることができ、自分に自信をもつことができたのではないかと感じています。立志にちなみ、「挑戦」することがこれから先にも大切だと思いますので、一人一人にとって良い経験や体験になったスキー体験学習でした。